

指趾切断手当プロトコル

指趾切断の内容の聴取

・切断に至った機序(機械事故、自損、加害、交通事故、スポーツ等)

反応(意識)がなければ
心肺蘇生法プロトコルへ

はい
切断しているか
いいえ

感染防止

- ・血液が実施者に直接触れないようにする
- ・可能であれば、ゴム手袋やビニール袋を着用させる
- ・できるだけ血液に触れないよう注意喚起する

止血法の口頭指導

- ・意識(反応)がなくなった場合はすぐに知らせよう指示する。

直接圧迫止血

- ・清潔なガーゼ・ハンカチ・タオルなどを重ね、出血部位に当てて、強く押さえる

あり
切断指趾の現場残存
なし

切断指趾を医療機関にもっていくことを説明する

- できるだけ清潔に保つこと 2
- 救助者がいる場合で可能であれば氷の調達を指示する

可能範囲で検索
観察・処置を継続指示

・通報者が極度に焦燥し、冷静でない場合は、口頭指導を中止する。

1 必要に応じて二次災害の予防を指導する

2 ビニール袋を2枚用意、最初の1枚のビニール袋に切断指趾を入れ、もう1枚のビニール袋に氷を入れる。氷を入れたビニール袋の中に切断指趾を入れたビニール袋を入れる。

止血法・指趾切断プロトコール

救急車はそちらへ向かっています！落ち着いて私の質問に答えて下さい！

感染防止

- ・血を止める方法を教えますが、あなた自身に傷があった場合、血が着くと感染することがありますので、ビニール手袋をはめるか、ビニール袋(買い物袋)の中に手を入れて行ってください
- ・なければ、血液にふれないように注意しながら行ってください



直接圧迫止血

- ・出血している所を確認して、そこにきれいなタオルやハンカチなどを重ねてあてて、強く押さえてください

それでも止まらないとき

- ・押さえているところが出血の場所からずれているか、押さえる力が弱いことが考えられますので出血箇所を確実に押さえ直してください
- ・傷口を心臓よりも高くあげておいてください

市民による応急手当において止血帯の使用は推奨されない！

- ・直接圧迫止血法は止血帯法に比べて効果的であり、かつ安全である
- ・止血帯を使用することにより神経や筋肉の著しい障害をきたすおそれがある

切断四肢の処理

切断の確認

指(腕、足)は切れて離れていませんか？



切れた指(腕、足)はありますか？ なければ探してみてください



切れた指(腕、足)を救急隊が病院へ持って行きますので、清潔なビニール袋を2枚と布を用意してください。

- ・1枚の袋には、氷と水を入れてください
- ・切れた指を布に包んで、何も入っていないビニール袋に入れ、口を縛ってください
- ・指の入った袋を氷水が入っている袋の中に入れてください

指趾切断手当

